

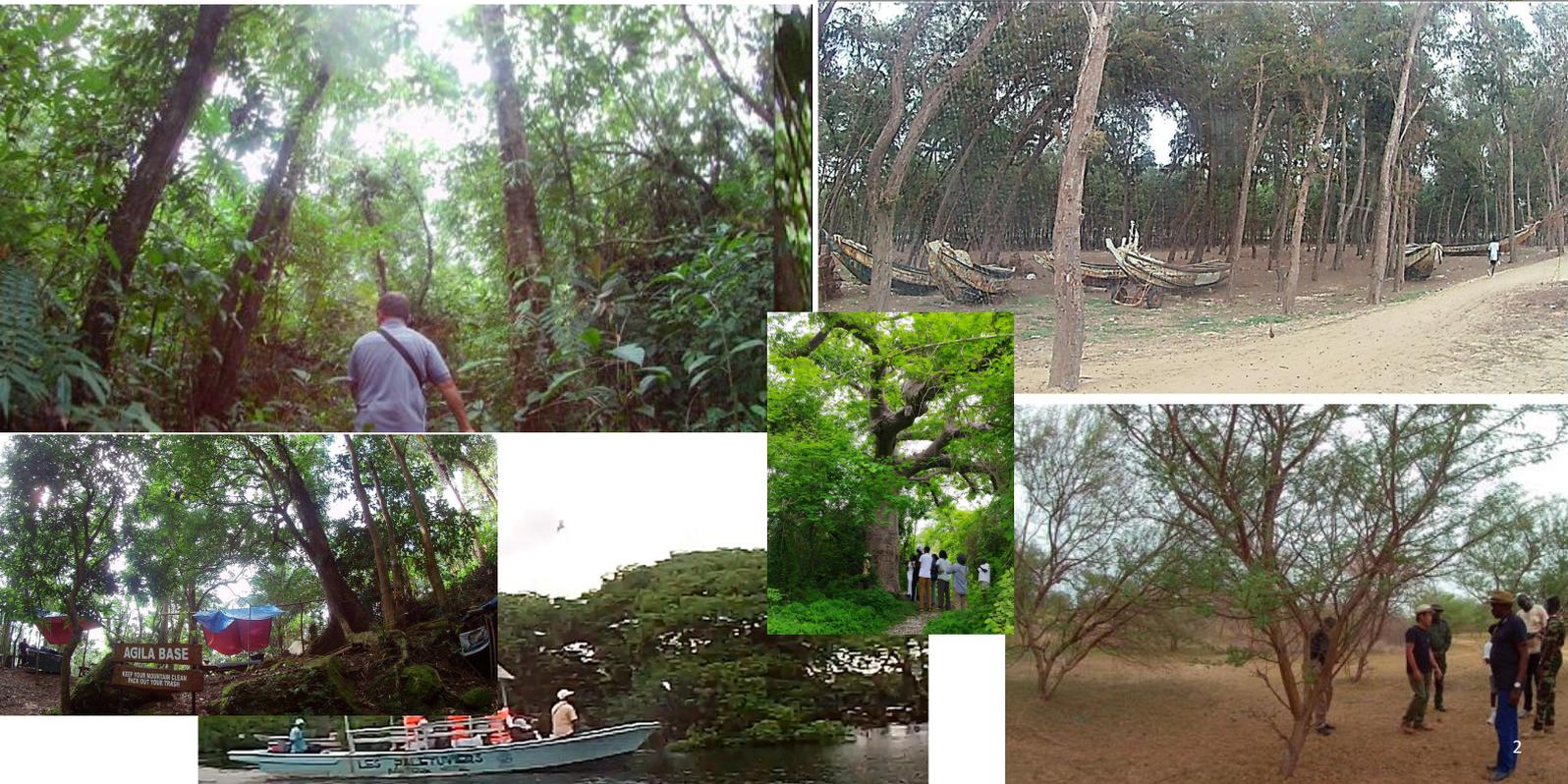
森林資源をうまく利用し保全するための 途上国での様々な取り組み

実証調査発表 プロローグ

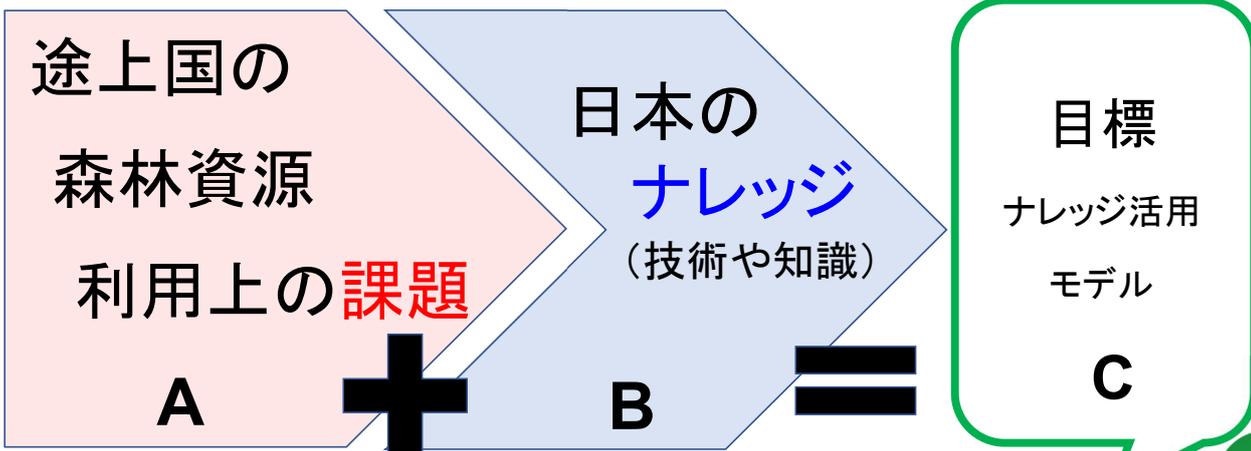


JIFPRO 研究員 山本朝子

● 途上国の森林資源...森林の45%は熱帯 例: フィリピン、セネガル



● JIFPROが行うナレッジ事業の「実証調査」



途上国が森林資源を持続的に活用し
住民の生計向上に資する取組

→ ナレッジ活用モデルを **ChiePro** にて公開中!

● 最新例

森林利用課題(A)

日本のナレッジ(B)

森林資源の持続的な活用 & 住民の生計向上に資する取組(C)

フィリピン



希少種アキラリアの枯渇



小型蒸留器



蒸留物より商品開発
収益で植林

セネガル



乾燥・土壌水分が不足



完全生分解性ポリマー



乾季に伴う土壌の乾燥を遅らせ
緑化に貢献

● 令和3年・5年例

森林利用課題 (A)

日本のナレッジ (B)

森林資源の持続的な活用 & 住民の生計向上に資する取組 (C)

ベトナム R5年

シナモン林の土壌劣化

日本のナレッジ (B)

バーク堆肥

持続可能なシナモン林経営

タンザニア R3年

短期収入源のニーズ、未導入の早生材

日本のナレッジ (B)

木性楽器加工技術

持続可能なコミュニティ植林と楽器の提供

● 途上国に不足しがちな技術・知見等の「ナレッジ」 → 日本にはたくさんある

- 加工
- 活用方法
- 市場へのアクセス
- 付加価値向上
- etc

- 森林資源を活用し、人と森が共生する文化
- 継承・発展させ、地域経済を活性化



<http://nikkoseed.com/view/item/00000000249>

検索

→ 事業で収集したナレッジを **ちえぷろ** にて、紹介

ChiePro Knowledge Program by JIFPRO

森を守る。森を使う。日本の知識で。

「森を守る日本のちえぷろ」(ChiePro: Challenge to Innovative Eco-life Promotion)とは、日本国内で、あるいは日本の企業や企業、研究者などがこれまでで得た中で最良で最も優れた知見、知財、ノウハウ、こうした日本の「知」を途上国の森林保全活動に活かすためのアイデアが満載の「ちえぷろ」です。

● 5年で10実証調査を実施 (JIFPROナレッジ事業実証MAP)



★ 最新実証 (次の発表) ★ パネルの実証



本日は皆様も、可能な手法を考えてみてください



・ 視聴申込みの83%の方は民間セクター = 実証実施者と同じ



- 途上国のサプライチェーンの改善
 - 途上国での日本の技術・製品の展開
- 目標 C** ナレッジ活用モデル

途上国の森林保全 持続的森林管理
地球温暖化防止 生物多様性保全 など
グローバルな課題に貢献



- ・ ぜひ登壇者の話よりヒントを見つけながら、最後までお楽しみください
- ・ 皆様の意義のあるご活動を期待し、応援いたします!